

# みやざき

# ほん びより 「本」日和

私たちの郷土“宮崎”に縁がある図書館資料をご紹介します。

## 特集 Special feature

宮崎の豊かな大地に抱かれた<sup>いだ</sup>学び舎。  
さまざまなことを“勉強”します！



『ここに学校があった 第二編』  
『ここに学校があった—平成の統合・  
閉校の記録』編集委員会／編  
宮崎県教職員互助会  
2014  
2階郷土コーナー R372.1/コ-2

のびのび！ すくすく！

## 宮崎の学校



姿や名は消えても、  
“思い出”はいつまでも…

平成7年から平成25年度までに統  
合・閉校した学校79校分の校史や写  
真、学校に寄せる職員・卒業生・保護者  
の言葉などを収録。『ここに学校があっ  
た 校歌集』も所蔵があります。

校歌を歌うと、  
なぜか元気が出る!?

宮崎県内の県立高校の校歌を研究した  
一冊。各校の歌詞も掲載されています。  
あなたの通う高校、もしくは出身校を  
チェックしてみてもいいかもしれません♪♪

『校歌のこころ校歌のことは』  
高山俊文／著 鉦脈社  
2007  
2階郷土コーナー 767.6/夕



『宮崎県教育小史』（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）  
蛭原啓世／著 鉦脈社  
2014～2016  
2階郷土コーナー 372.1/エ

<sup>いま</sup>現在を知るため、先人に学ぶ！  
著者のライフワーク三部作

宮崎県地方における、学校教育や  
知育面の教育の場の歴史を詳述した  
労作。古代から1945年まで、近代  
教育体制構築の歴史を三冊で網羅！



他多数 and more…



# 祝！山本周五郎賞受賞！！

しんかわ ほ たて

## 新川帆立さん『女の国会』



5月16日に第38回山本周五郎賞（新潮文芸振興会主催）の選考会が開かれ、宮崎市育ちの作家、新川帆立さんの『女の国会』に授与されることが決まりました。この賞は、過去の受賞者として山田太一さんや宮部みゆきさんなどの作家も名を連ねており、優れた物語性のある小説に贈られます。

これからも、帆立さんの活躍から目が離せません！

～ 一体どれだけ強くなれば、  
この荒波を泳ぎ切れるのか～

国会のマドンナ、“お嬢”が遺書を残して亡くなった。長年ライバル関係にあった野党第一党の“憤慨おばさん”こと高月馨は、猛批判を受けピンチに陥る。その前日に“お嬢”を公衆の面前で叱責していたからだ。しかし、その死には何か違和感が……。議員・秘書・記者の世界の裏側を垣間見ることができる著者渾身の一作。

『女の国会』

新川帆立／著

幻冬舎 2024

2階郷土コーナー F/シン



宮崎出身・宮崎に深く関わりのある作家さんのコーナーです。

作品を読んで、一緒に応援しませんか？

※郷土関連資料の寄贈もお待ちしています！

場所：2階郷土コーナー内

目印：右のシールが本の背に貼ってあります



### ?みやざき「本」日和 クイズ?

『校歌のこころ校歌のことば』 高山俊文／著 鉱脈社 2007 (767.6/夕) より

Q. 宮崎県の県立高校の校歌に最も多く用いられている言葉は何でしょう??

答えは次号！

※ Vol.5の答えは、『徳川家定』でした。

宮崎市立図書館 0985-52-7100